



2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社テリロジーホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 阿部 昭彦  
(コード番号5133 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 執行役員グループ経営本部長 廣谷 慎吾  
電 話 03-3237-3437

上場廃止となった子会社（株式会社テリロジー）の決算短信補足説明資料  
に関するお知らせについて

2022年11月1日をもって完全子会社化した株式会社テリロジーに関する「2023年3月期第2四半期決算短信補足説明資料」について、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

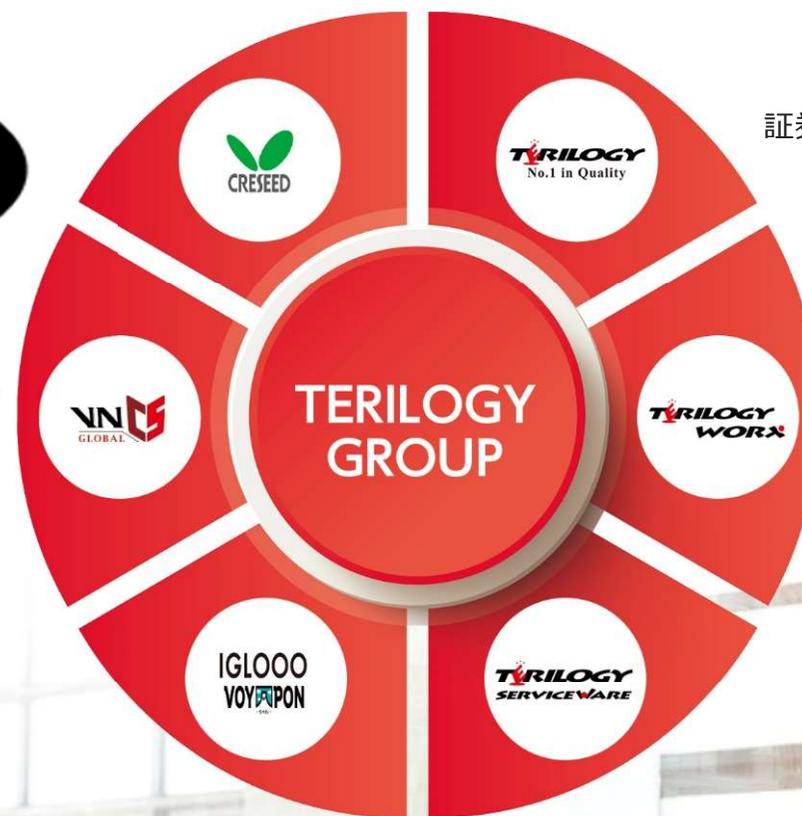


株式会社テリロジーホールディングス

## 2023年3月期第2四半期 決算短信補足説明資料



証券コード 5133



当社は、2022年11月1日に株式会社テリロジーの完全親会社として単独株式移転により設立され、持株会社体制へ移行し、同日に新規上場いたしました。  
株式会社テリロジーの2023年3月期第2四半期決算短信補足説明資料を、当社が代わって開示しております。

- ◆社名 : 株式会社テリロジーホールディングス
- ◆代表者 : 代表取締役社長 阿部 昭彦
- ◆所在地 : 東京都千代田区九段北1丁目13番5号
- ◆設立年月日 : 2022年11月1日  
(株式会社テリロジー1989年7月14日 設立)
- ◆資本金 : 450,000千円
- ◆市場区分 : 東証スタンダード市場
- ◆証券コード : 5133
- ◆業種別分類 : 情報・通信業
- ◆主な株主構成 : 役員、社員持株会  
兼松エレクトロニクス株式会社ほか
- ◆取引銀行 : 三井住友銀行
- ◆グループ社員数 : 223名 (役員含む/2022年11月現在)
- ◆グループ会社 : 株式会社テリロジー  
株式会社テリロジーワークス  
株式会社テリロジーサービスウェア  
株式会社IGLOOO  
クレシード株式会社  
VNCS Global Solution Technology Joint Stock Company  
(ベトナム国ハノイ市)



Securities code : 5133



IS 97125 / ISO27001

EMS 513188 / ISO14001



テリロジーホールディングス本社

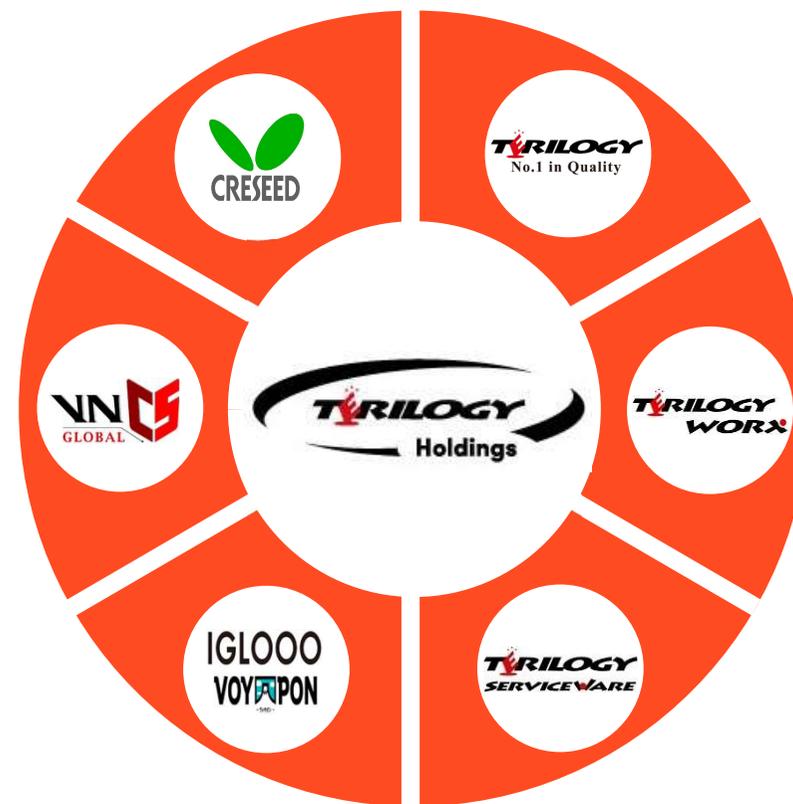
テリロジーグループは、事業展開の加速化およびガバナンスの強化を通じた企業価値向上の実現のため持株会社体制に移行しました。

## 持株会社体制への移行の目的

### ■ グループの一体化

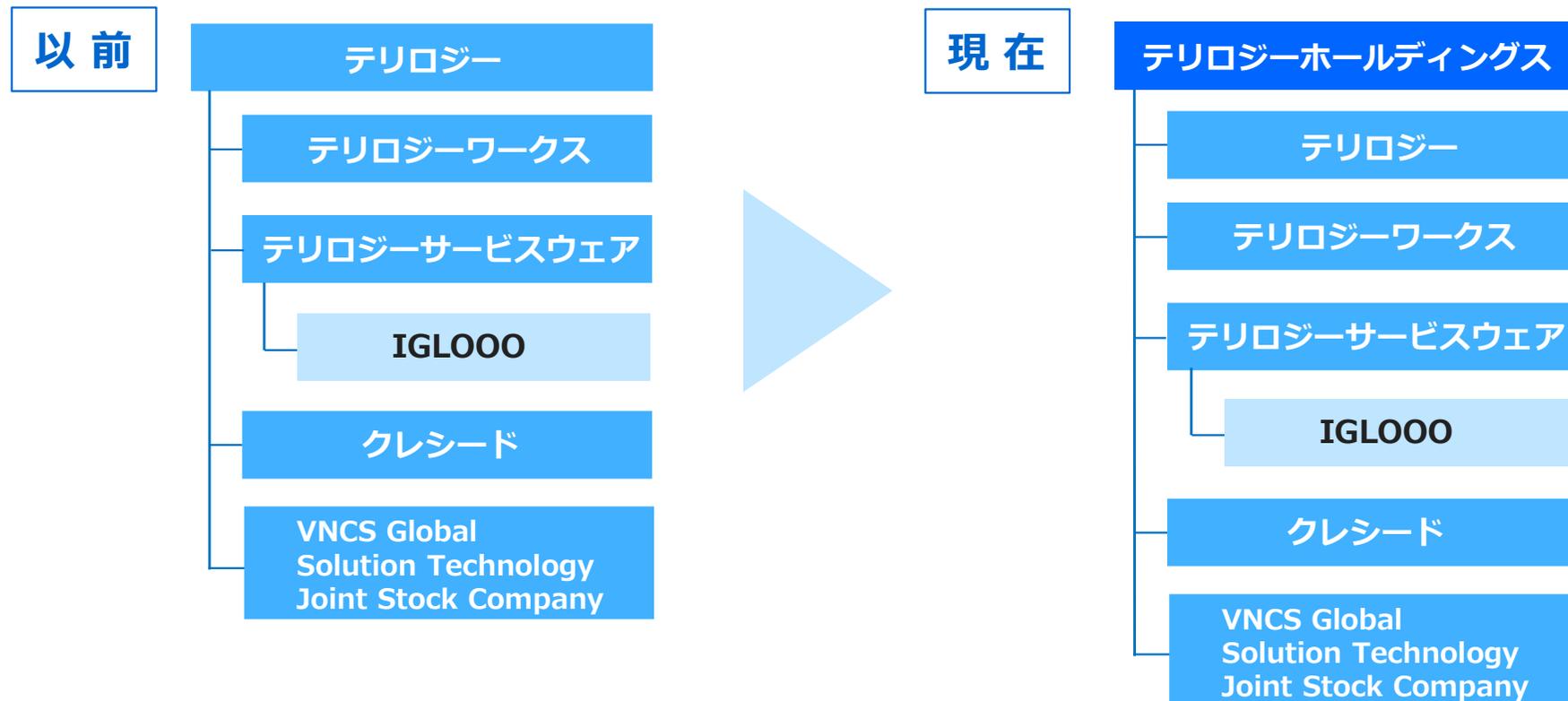
持株会社へのグループ会社株式の集約によるグループ経営の効率化

- 経営資源配分の最適化  
(グループシナジー、人材の有効活用、資金運用の効率化)
- 事業構造の効率化  
(事業統合、間接部門集約、M&Aやアライアンスの推進等)
- 共通のプラットフォームによる業務の効率化



## テリロジーホールディングスの設立

2022年11月1日を効力発生日として、当社単独による本株式移転により持株会社を設立し、テリロジーは持株会社の完全子会社となりました。



(注) VNCS Global Solution Technology Joint Stock Companyは持分法を適用していない関連会社です。

# 2023年3月期第2四半期 業績説明 【株式会社テリロジー分】

当社は、2022年11月1日に株式会社テリロジーの完全親会社として単独株式移転により設立され、持株会社体制へ移行し、同日に新規上場いたしました。  
株式会社テリロジーの2023年3月期第2四半期決算短信補足説明資料を、当社が代わって開示しております。

## 対前年同期比で増収・減益

### 売上・受注

- ・セキュリティ需要の高まりから受注活動は堅調に推移し、売上高、受注残高は増加

売上高：2,474百万円（5.3%増、125百万円増）  
 受注高：2,435百万円（10.2%減、275百万円減）  
 受注残高：1,850百万円（30.6%増、434百万円増）

（対前年比）

### 損益

- ・売上高は増加するが急速な円安の進行により売上総利益は減少
- ・事業の拡大に向け、新卒・中途採用により人件費は増加
- ・資本業務提携に係る費用20百万円、譲渡制限付株式の精算など組織再編に伴う諸費用32百万円を計上

販売管理費及び一般管理費：895百万円（15.0%増 116百万円増）  
 営業利益：△42百万円（221百万円減、前期 178百万円）  
 経常利益：△39百万円（213百万円減、前期 174百万円）  
 親会社株主に帰属する  
 四半期純利益：△80百万円（162百万円減、前期 81百万円）

（対前年比）

## 対前年同期比で増収・減益

(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		
	金額	金額	増減額	増減率 (%)	
売上高	2,349	<b>2,474</b>	 125	5.3%	
売上総利益	958	<b>853</b>	 △104	△10.9%	
販売管理費	779	<b>895</b>	 116	15.0%	
営業利益	178	△ <b>42</b>	 △221	△123.9%	
経常利益	174	△ <b>39</b>	 △213	△122.5%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	81	△ <b>80</b>	 △162	△198.5%	
為替レート (ドル)	109.80円	<b>134.66円</b>			
1株当たり四半期純利益	5円01銭	△ <b>4円96銭</b>			
自己資本比率	41.4%	<b>41.4%</b>			

## 2023年3月期第2四半期 セグメント別売上高構成比

(単位：百万円)

ソリューションサービス部門

**698**百万円

(売上高構成比:28.2%)

ネットワーク部門

**640**百万円

(売上高構成比:25.9%)

モニタリング部門

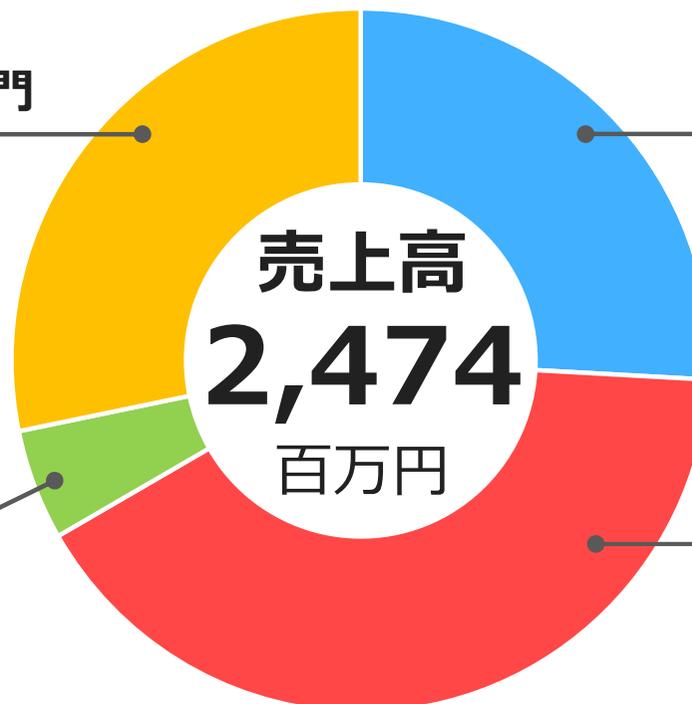
**126**百万円

(売上高構成比:5.1%)

セキュリティ部門

**1,009**百万円

(売上高構成比:40.8%)



セグメント	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期	
	金額	金額	増減額	増減率 (%)
ネットワーク部門	708	640	△67	△9.6%
セキュリティ部門	752	1,009	256	34.1%
モニタリング部門	161	126	△34	△21.6%
ソリューションサービス部門	727	698	△28	△4.0%
合計	2,349	2,474	125	5.3%

国際的スポーツイベント以降も続くDDoS攻撃やテレワーク・在宅勤務によりひっ迫したVPN回線など、企業内ネットワークはセキュリティ対策と運用管理が課題

売上高：**640百万円**（売上高構成比：**25.9%**）

対前年同期比：**67百万円減**、増減率：**9.6%減**

## ■トピックス

- ・ 国際的スポーツイベント以降も続くDDoS攻撃への対策や、テレワーク・在宅勤務によりひっ迫したVPN回線、WAN回線の負荷分散など、企業内ネットワークが抱える課題解決に向けて、DDoS対策サービスやWAN回線の負荷分散装置、Webアプリケーションの最適化など「Radware」製品の受注活動は堅調に推移。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の変化に対応するため、企業内でのテレワーク、フリーアドレス制の導入に伴うWi-Fi環境の構築や利用拡大に向けて、セキュアなクラウド型無線LANシステム「Extreme Networks（旧Aerohive）」を採用した構築案件の受注獲得に努める。
- ・ IPアドレス管理サーバ製品「Infoblox」は、新モデルへのリプレース需要が一巡したことから、コロナ禍でのテレワーク増加によるセキュリティ対策に向けたDNSセキュリティソリューションの提案活動に注力。  
また、サブスクリプションモデルによる価格形態の変更により、従来のような売上計上ができなくなった。

インターネットが社会生活や経済活動に不可欠な社会インフラとして定着したことで、不正アクセスや標的型攻撃などのサイバー攻撃によるセキュリティの脅威は増加

**増収**

売上高：**1,009**百万円（売上高構成比：**40.8%**）

対前年同期比：**256**百万円増、増減率：**34.1%**増

## ■トピックス

- ・ 電力系などの重要インフラや工場及びビル管理などの産業制御システム分野では、OT/IoTのセキュリティ対策に「Nozomi Networks」を採用した制御システム・セキュリティリスク分析案件の引き合いが増加。
- ・ 昨今のクラウド利用の加速とリモートワークの定着により、多くの企業では外部からのセキュリティ脅威や内部不正のリスクに晒されている中、既存システムやセキュリティツールのログ情報や、SaaSやPaaSなどのクラウドサービスのログ情報をクラウド上で一元的に集め、相関付けることで外部・内部の脅威をいち早く正確に捉えることのできる「Sumologic」の引き合いは増加。
- ・ サイバー犯罪、サイバーテロ等に関する情報を収集・分析する「サイバースレットインテリジェンスサービス」やサプライチェーンのリスクを可視化するサイバーリスク自動評価サービス「BitSight」の受注活動は堅調に推移。
- ・ 様々な犯罪で利用されることの多いSNSをAIで分析し、犯罪グループ間の隠れた関係や裏アカウントなどを特定するサービスを本格的に開始し、ソフトウェアサプライチェーンリスクのサービスも順調に立ち上がる。

テレワーク・在宅勤務の急拡大により逼迫したネットワークの可視化とセキュリティリスク対策に向けて、パケットキャプチャ製品の新モデルを本格的に販売開始

売上高：**126百万円**（売上高構成比：**5.1%**）  
対前年同期比：**34百万円減**、増減率：**21.6%減**

## ■トピックス

- ・新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークや在宅勤務の急拡大により、ネットワークの負荷、セキュリティリスクが高まる。
  - ・当社グループ独自パケットキャプチャ新モデル「THXシリーズ」
    - ▶ネットワーク監視やセキュリティ対策、トラブルシューティング対応などの新規案件の受注獲得に注力。
  - ・当社グループ独自運用監視クラウドサービス「CloudTriage」
    - ▶当社グループの主要顧客を中心にMicrosoft365などSaaSのパフォーマンスの可視化と原因追究などの案件受注に努める。
- ・長年使用されてきたレガシーな製品のサポート終了に伴う保守サービスの売上が減少。

新型コロナウイルス感染症の水際対策緩和により、多言語対応での「みえる通訳」の導入や通訳利用が増加傾向にあり、今後のインバウンド需要に明るい兆し

売上高：**698百万円**（売上高構成比：**28.2%**）

対前年同期比：**28百万円減**、増減率：**4.0%減**

## ■トピックス

- ・多言語通訳の「みえる通訳」は、ワクチン接種会場官公庁及び自治体、医療機関での利用は引き続き増加。  
また、インバウンド需要が再開し、これまでの契約ユーザーである空港、商業施設、メガネショップなどでの利用が増大傾向。
- ・Zoomの新しい利用スタイルとして、「みえる通訳」を組み合わせることにより国際会議での需要が増大。
- ・簡便性と導入しやすい価格帯からクラウドマネージドVPNサービスが、クラウドPBX事業者、中小企業のネットワークサービスとして引き合いは増加。
- ・当社グループ開発の究極的に簡単なRPAツール「EzAvater」は、誰でも簡単に使える特徴と認知度の高まりから業界、業種、規模を問わず利用が拡大し、契約件数は堅調に推移。
- ・情報システム業務支援及び業務開発のクレシード社及び訪日インバウンドメディアを活用したプロモーション事業のIGLOOO（イグルー）社の受注活動は、概ね予定通りに推移。

# テリロジーホールディングス 2023年3月期業績予想

・ テリロジーホールディングス 2023年3月期 業績予想

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想		
	金額	金額	増減額	増減率 (%)
売上高	5,223	<b>6,200</b>	977	18.7%
売上総利益	2,061	<b>2,308</b>	247	12.0%
販売管理費	1,620	<b>1,938</b>	318	19.6%
営業利益	441	<b>370</b>	△71	△16.2%
経常利益	439	<b>370</b>	△69	△15.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	273	<b>250</b>	△23	△8.6%
為替レート (ドル)	112.38円	<b>130.00円</b>		
1株当たり当期純利益	16円87銭	<b>15円44銭</b>		
年間配当金	7円00銭	<b>5円00銭</b>		
配当性向 (連結)	41.4%	<b>32.4%</b>		



テリロジーグループ

FY2021-2023

3カ年中期経営計画



## 経営理念

デジタル社会の変化に自ら対応・進化し、お客様が欲する最適・的確なソリューションとサービスを提供し続けられるテクノロジーオーガナイズ企業グループを目指します。

## わたしたちの約束

(理念を達成するための行動指針)

1. お客様第一主義に考えます。
2. お客様、パートナーに選んで頂けるサービスを考え、提供し続けます。
3. 仕事に厳しく、人にやさしく、仲間を信じて共に成長します。
4. 新しいもの、よりよいものを求め常に工夫し続けます。
5. 常に素直に、正直に学ぶ姿勢を持ち続けます。

## 取り組み 姿勢

今後益々進展するデジタル社会の基盤づくりにおいて、合理的な最新技術動向の予見と分析に基づき、果敢に挑戦し、独自の工夫によって市場から認知され社会から信頼されるソリューションとサービスを絶えず創出、提供し続ける存在であり続けます。

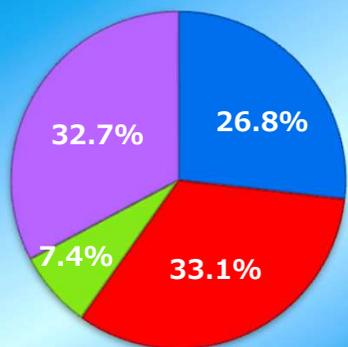
1. 新しいコト、困難なコトに立ち向かっていく「高い志」を持つ組織。
2. 仕事を通じて自己の成長が確認できる組織。
3. 「学習する」組織。

## 目指す 集団像

自由な発想力、着実な行動力、そして実現力を保有するプロフェッショナルなイノベーション力溢れる企業集団を目指します。

FY2021実績

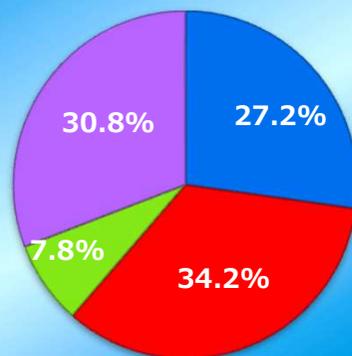
売上高 **52** 億円  
 営業利益 **4.4** 億円  
 成長率 **111.1** %  
 セグメント別売上高



■ ネットワーク ■ セキュリティ  
 ■ モニタリング ■ ソリューションサービス

FY2022目標

売上高 **62** 億円  
 営業利益 **3.7** 億円  
 成長率 **118.7** %  
 セグメント別売上高



FY2023計画

売上高 **74** 億円

営業利益 **5.6** 億円  
 成長率 **120.0** %



2024年3月期は  
 売上高74億円を目指す

## グループ・ポートフォリオ 事業の更なる 強化・拡大

### グループ連携による ストック型事業モデルへの 強化

- 1** クラウドセキュリティ  
事業への挑戦  
(マルチクラウド、SIEM/SASE等  
新規開発事業)
- 2** ビジネス・システム・  
アウトソーシング事業拡大  
(情報システム業務・運用BPO/BPM/  
ITO事業領域をカバー)

- 1** IT/OT/IoT/DXセキュリティ&  
テクノロジー事業領域の強化  
(主力事業領域のトップライン拡大)
- 2** グループ事業シナジーの  
追求強化  
(事業価値連鎖、連結収益力の増強)
- 3** ダイナミックな  
グループ事業の拡大  
(成長・安定事業のグループ取込、  
M&A・アライアンスの推進)

### グローバルな 事業展開

- 1** アジア事業戦略展開強化
  - ベトナム市場への集中
  - VNCS-Global経営支援
- 2** 米国・イスラエル連携
  - 先進技術のソーシング
  - 事業開発投資機能の発揮

## 成長を支える

### 実行組織・管理体制の仕組み整備・強化

## 基本的な考え方

- ・人材（営業・開発力）を買う
- ・顧客基盤を買う
- ・時間を買う
- ・売上・利益を買う
- ・未来の相乗効果を買う

## 対象分野

アジア圏・新興  
IT系技術商社

IT技術・専門商社・  
販売系領域

情報システム  
事業領域

インバウンド  
ソリューション領域

SES技術人材系・  
SIer領域

セキュリティ  
ソリューション領域

医療情報系処理・  
開発販売領域

DX・AI/RPA  
テクノロジー領域

クラウド技術  
領域

その他、急成長が  
期待される関連  
市場スタートアップ  
ベンチャー

## 投資規模感イメージ

### 投資予算規模

約10～20億円

1案件：3～5億円の投資規模感

### 獲得年商規模

1案件：5～10億円の年商規模感

### 基本スタンス

支配権確保ベースの資本提携・戦略業務提携による  
グループシナジーの実現。グループ連結貢献

テリロジーグループは、持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」を経営戦略のひとつと位置づけ、事業活動を通じて持続可能（サステナブル）な社会の実現に貢献します。

## テリロジーグループが取り組む20項目

- ・テレワークの推進
- ・働き方改革の推進
- ・社員教育の推進
- ・外国人雇用の促進
- ・地方拠点の活用
- ・男性育休（パパ休暇）の推進
- ・ハラスメント防止の推進
- ・テレワークソリューション提供による多様な労働環境の実現
- ・環境マネジメントシステムの推進
- ・サイバーセキュリティ強化に向け国家的に取り組むベトナムにおいて、IT/OTセキュリティエンジニアの育成・ハラスメント防止の推進
- ・クラウド化の推進による資源効率化／運用負荷軽減
- ・中小企業のIT化／DX推進
- ・産業用制御システム（OT）向けセキュリティの啓もう活動
- ・産業廃棄物DX化によりSDGsの実現に貢献
- ・インバウンドによる地方創生支援
- ・グローバルなパートナーシップの活用による日本のイノベーション促進
- ・ビジュアルコミュニケーションによる聴覚障害者支援
- ・在留外国人のコミュニケーション支援に、多言語通訳サービスを公共機関に提供
- ・エコキャップ運動への取り組み
- ・ゆび募金への取り組み

## 関連する主なSDGs項目

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

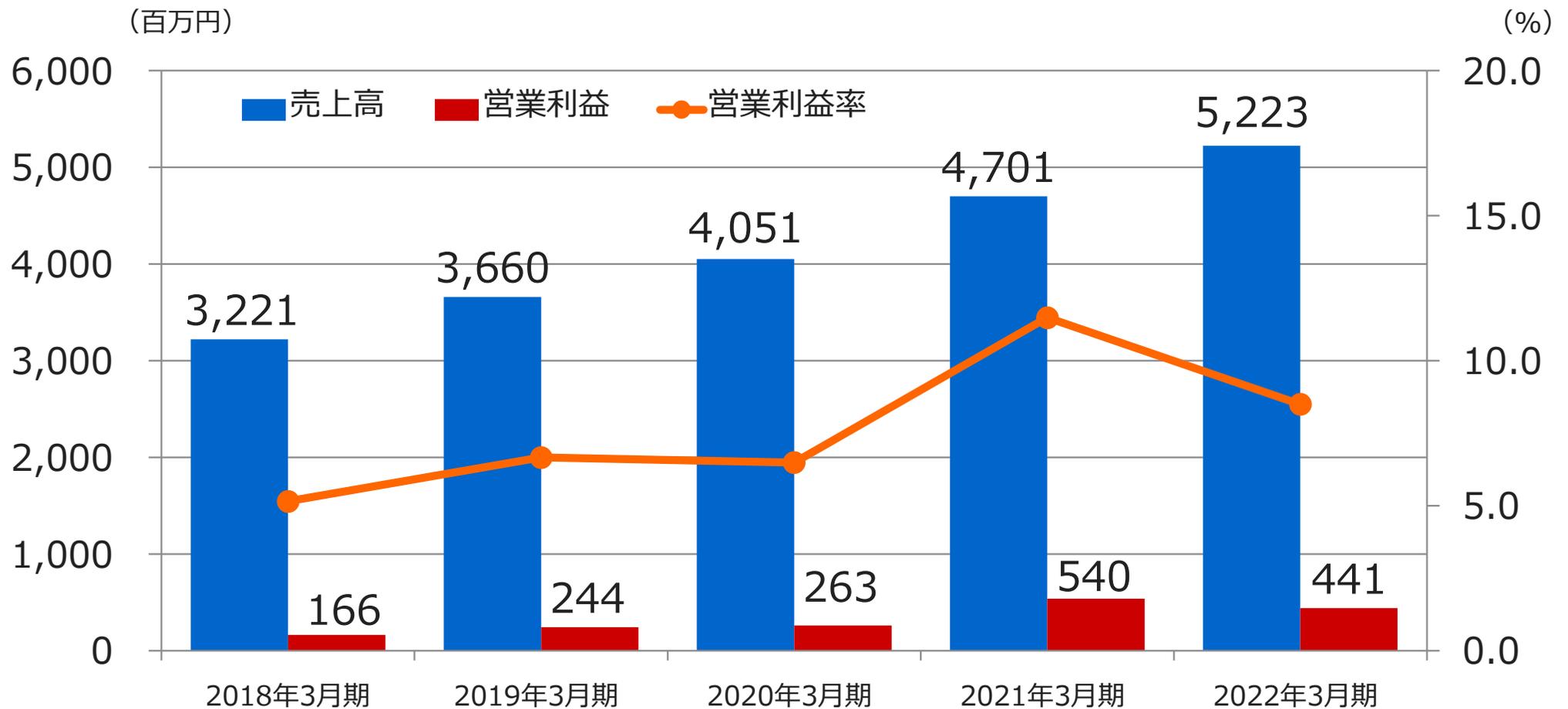


組織	組織	担当分野
	テリロジー	トータル・セキュリティ&セーフティ提供事業 (NW/Cloud/Platform/Endpoint/Apps/Intelligence)
	テリロジーワークス	CTI (サイバー脅威情報) とスレットハンティングを核とする サイバー犯罪、サイバーテロ対策
	テリロジー サービスウェア	ICTサービス提供事業 (カンタンVPN・Zero-Con / みえる通訳)
	IGLOOO (イグルー)	観光DX・Inbound Solution海外向けメディア・コンテンツ制作・ 運営 / 越境EC主催者
	VNCS-Global	ベトナム・セキュリティソリューション提供事業 (政府認定SoC事業者)
	クレシード	情報システム開発・運用サービス提供事業 (Cre-Fit / テクノロジー・アウトソーシング・サービス)

組織	ミッション/ビジョン	アクションプラン
	<p><b>ミッション</b> デジタル社会において、独自の価値あるセキュリティテクノロジーを提供し、あらゆるビジネスシーンでの安心・安全を実現</p> <p><b>ビジョン</b> お客様の課題を価値ある技術の組み合わせにより、独自の最適解決を提案・実現するテクノロジーソリューションオーガナイザーになる</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 米国（SV）、イスラエルの先進・先端技術動向に関する継続的な調査、発掘活動</li> <li>2. 技術と日本市場、取引お客様課題の適合性の継続的な調査、照会、検証活動</li> <li>3. 市場導入のための技術の組み合わせ・適合開発アレンジ、対応体制の構築、価値ある提案営業教育、そして新市場の創造活動</li> </ol>
	<p><b>ミッション</b> スレットインテリジェンスとハンティングの技術を駆使し、顧客をサイバー攻撃から守る</p> <p><b>ビジョン</b> 日本初の本格的インテリジェンスベンダーになる</p>	<p><b>対象顧客：セグメントに対するビジネス展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・官公庁</li> <li>・法執行機関等に対するインテリジェンスサービスの提供</li> <li>・エンタープライズ</li> <li>・ランサムウェアなどサイバー犯罪対策の支援</li> </ul>
	<p><b>ミッション</b> ビジュアルネットワーク分野において独自の目線でユーザとニーズにあわせて利用しやすくオリジナルのビジュアルパワーサービスを企画・開発・提供</p> <p><b>ビジョン</b> 映像処理とインターネット通信技術を組み合わせた優れた汎用性の高い付加価値オリジナルサービスを提供するビジュアルパワー事業者になる</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 動画配信プラットフォーム</li> <li>2. クラウド型翻訳サービスの企画・提供</li> <li>3. インバウンド～在留外国人に向けた、翻訳・通訳業務の提供</li> <li>4. ネットワーク分野におけるBPO事業の拡大</li> </ol>

組織	ミッション/ビジョン	アクションプラン
	<p><b>ミッション</b> インバウンドや越境EC支援を通じ、地方経済の活性 / グローバル化に貢献する</p> <p><b>ビジョン</b> 人の行き来や文化交流から生まれる地球規模での思い出や感動づくりができる世界一の会社へ</p>	<p><b>インバウンド事業</b> 対象顧客：主に官公庁・自治体（中長期的にはアジア諸国の顧客開拓も計画） 対象市場：欧米豪ならびに中東市場 ① PR（海外メディアのバイイング、自社メディアの活用） ② 観光DX（デジタルマーケティングソリューションの提供）</p> <p><b>越境EC事業</b> 対象顧客：伝統産業メーカー（中長期的にはアジア諸国の顧客開拓も計画） 対象市場：欧米豪ならびに中東市場</p>
	<p><b>ミッション</b> 日本品質とベトナムのエクセレンスをベースとした高度サイバーセキュリティサービスの提供による安全なデジタルトランスフォーメーションの推進</p> <p><b>ビジョン</b> アジアグローバル地域の人々を支えるサイバーセキュリティのリーディングカンパニーを目指す</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本国内導入ソリューション&amp;サービスのベトナムでの展開（越国政府、越企業、日系企業向け）</li> <li>2. 政府認定SoCサービス等、VNCS Global社の開発したソリューション&amp;サービスのベトナム国内での展開</li> <li>3. VNCS Global社の開発した価格競争力の高いソリューション&amp;サービスや、ベトナムの高度サイバーセキュリティ人材の日本向け提供</li> <li>4. 日本・ベトナムにおける成功事例をベースとしたソリューション&amp;サービスの、ASEAN諸国を中心としたアジア全域での展開</li> </ol>
	<p><b>ミッション</b> 情報システムの戦略的サポートパートナーとして組織の高度なIT化へ寄与する</p> <p><b>ビジョン</b> 徹底したユーザイン思考でお客様のIT化を支え、お客様とDX戦略を共に形作るベストパートナーになる</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顧客ネットワークサーバ環境のコンサルティングと日々の運用負荷を軽減</li> <li>2. 豊富な運用サポート経験を基にした顧客目線でのアウトソーシング事業を推進</li> <li>3. 顧客ビジネス拡大に寄与するクリエイティブなWebソリューションを展開</li> <li>4. 顧客ビジネスを支える各種システム開発ときめ細かなサポート支援を提供</li> </ol>

# ご参考 売上高・営業利益の推移（最近5カ年）



決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	3,221百万円	3,660百万円	4,051百万円	4,701百万円	5,223百万円
営業利益	166百万円	244百万円	263百万円	540百万円	441百万円
営業利益率	5.1%	6.6%	6.5%	11.5%	8.5%



## [免責事項]

- 本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性についてテリロジーホールディングスは責任を負うものではありません。
- また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。

### 【お問い合わせ先】

IR担当  
TEL:03-3237-3437  
E-mail : ir@terilogy.com